

出雲トキ新聞

出雲トキ新聞
西村 希

トキって知ってる？

みなさんはトキという鳥を知っていますか？
私はニュースでトキが出雲市で見ることができると知るまで、知りませんでした。
そこで、トキについて調べてみることにしました。

トキの大きさはつばさを
広げると1m40cmくらい
羽をじると70cm
ニワトリより少し大き
くらいだよ。



野生のトキはドジョウやカエル、タエシやバフをたべるよ。
生き物をみつけるためのくちばしはすごくひん感たと言われているよ。

トキの学名は「ニホニアニッポン」日本らしい鳥として江戸時代にヨーロッパに紹介されたよ。

トキは夏と冬で羽の色がかわるよ。黒くなるのははんしゅく時期だけ。はんしゅくが来ると白色になるよ。「トキ色」というキレイなピンク色だよ。

トキは一度日本からいなくなった

トキのくらししている場所として有名なのは新がた島の佐渡です。今は約五百羽のトキがくらしています。

でも、トキは昔日本からいなくなりました。トキの羽の色は「トキ色」といってとてもきれいな色です。その羽をとるため、たくさん人間にとられすぎて、数がへりました。

また、農薬を使いすぎてエサのドジョウなどが少なくなりました。トキの数もへってしまいました。トキがいなくなった後、中国からトキをもらって、はんしゅくをして人間の手で数をふやしてきました。

トキの羽



昔はアジアで広く見られたけど今は中国の一部を佐渡でしか生息していません。



トキ分散し育センターへ行ってみた

今日本でトキを生育している所は全部で7か所あります。そのうちの1か所が出雲市のトキ分散し育センターです。中に入ると近くでトキを見ることが出来ます。



今年には3羽のヒナがうまれました。センターではヒナ一羽とお父さんとお母さんが一つのケージに入っているらしいです。
トキのヒナは血えき検査をしないとメスカオスカ分かりません。オトトキ50羽くらいが佐渡に帰って自然の中でくらすため、放鳥されました。



出雲から佐渡へ



トキがとぶよ！



NPO法人トキの会が中心になって、トキの生息地を拡大しようとしています。トキの生息地を拡大するために、トキの生息地を拡大しようとしています。

トキが出雲でくらすためには

トキがたくさんくらししている佐渡では、住んでいる人がトキが住みやすいように協力しています。

- 佐渡で取り組んでいること
- エサを食べられる場所を作る。
- 農薬や除草剤の使用を減らす。
- トキを見守るルール作り

トキは深い水のある所ではエサが取れないので、水が浅くて草があまり生えていないビオトープや田んぼを作る必要があります。また、エサのドジョウや虫がたくさんいないと生きていけないので、農薬はあまり使わないほうがいいです。そして、わたしたちがトキを大事にして一緒にくらししていく気が大切ですよ。



(出雲市トキのパルレットから)

感想

トキセンターに行くと話も聞けてトキについて詳しくわかった。トキの生息地を拡大して、トキがくらすための場所を作りたい。

斐川の田んぼの生き物調査

わたしの家の周りの田んぼは、パイプラインから水を入れていますが、田んぼでドジョウやトキのエサはみつかっていません。でも、田んぼのそばの水にはドジョウやエビなど生き物がたくさんいました。



Q&A

Q おじいちゃんにインタビューして、無農薬で作るのはたいへん？

A 今は農薬は使っていないけど、除草剤は使っている。薬を使うと草が生えなかり、お米がよく育つから、とてもべんり。

無農薬の米づくりはたいへんだから、農家さんの理かいか大事なことと思う。



トキがくらすのを協力しよう！